

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立枚方高等学校
取り組む課題	A グローバル人材の育成
評価指標	①卒業時の英検準2級以上合格者の割合の向上 ②学校教育自己診断における生徒の海外交流満足度の向上 ③発表やプレゼンテーションの機会を設けることによるコミュニケーション力の向上
計画名	枚高で未来をひらこう ～Global Learning Hall から世界に羽ばたけ枚高生～

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	<p>3 「グローバルに考え、行動する学校」の実現に向けて</p> <p>(1) 将来グローバル社会で活躍できるよう英語の4技能（「聞く・話す・読む・書く」）を総合的に育成する授業づくりを推進し、教育活動の様々な場面において、「使える英語力」の伸長を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等の協力を得ながら、英語暗唱弁論大会を充実し、「外国語キャンプ」、「インターナショナルフェスティバル」「10校合同課題研究会」等に積極的に参加する。 ・ 英語検定、英語学力調査等の受検を推奨するとともに、準備講習等を計画的に実施し、令和6年度の卒業時に英検2級レベル到達をめざす。 <p>(2) 国際文化科を設置する学校として、全校的に国際交流・異文化理解教育のさらなる活性化、SDGsに関する課題研究等の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際文化科において、3年間を通じたSDGs課題研究及び国際交流・異文化理解教育の取組みを充実させるとともに、コミュニケーション能力やプレゼンテーション力を育成し、世界規模で考え、自ら考え、調べ、行動、発信できる力を養う。さらに取組みとその成果を国際教養科、普通科とも共有する。
事業目標	<p>現在の古くて活用しづらい視聴覚教室を地域の国際交流の拠点となるGlobal Learning Hall（以下GL Hall）にリノベーションし、国際関係学科 LETS の1校としてグローバル人材の育成を推進する。</p> <p>1 SDGs 課題研究及び国際交流・異文化理解教育の取組みを充実させ、国際文化科から普通科へ、さらに近隣や他の国際関係学科を有する学校・他県の学校へと発信し、取組みの輪を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外の学校との交流の場として、オンラインを含む現地以外での活動の機会を増加させる。 ・ 国際理解学習プログラム（講演会・多様な外国人との文化交流）を実施し、情報共有する。 ・ 令和5年度近畿地区英語・国際関係科設置高等学校の研究協議会の開催会場として近畿の高校へ情報発信。 <p>以上の取組みから学校教育自己診断「国際交流活動が活発」の肯定率を92%から95%以上にする。</p> <p>2 グループワーク・ディベート・ポスターセッション等の機会を増やし、コミュニケーション能力やプレゼンテーション力の育成を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「枚方未来学（総合的な探究の時間）」におけるプレゼンテーション・ポスターセッション等での活用。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科・科目の授業でのディベート・プレゼンテーション・ポスターセッションなどでの活用。 <p>以上の取組みから学校教育自己診断「考えをまとめ、発表する機会がある」の肯定率を 91% から 95% 以上にする。</p> <p>3 1・2 の取組みから生徒に英語によるコミュニケーションの必要性を実感させ、モチベーションを高めるとともに受験支援体制を充実、英検合格の割合を増やし、2 級合格を 45% から 80% 以上に準 2 級以上を 73% から 100% へと向上させる。</p>
取組みの概要	整備する 設備 ・物品	<p>視聴覚教室をフレキシブルに活用できる「Global Learning Hall (GL Hall)」に改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現在の固定机・椅子 (124 席) を撤去し、床をタイルカーペットで養生 ○スタック収納が可能な机と椅子 (160 席程度) ○発表用のパーテーション兼用のホワイトボード
	前年度	<p>【1 学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視聴覚教室リニューアルに関する構想を教員間でブレインストーミング。 ・ 実用英語能力検定の国際文化科全員受験の準備。 <p>【2 学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有志生徒による海外オンライン交流の試行。オーストラリア 2 校 (マウント・セント・マイケル高校、ビーンレイ・ステイト高校)、台湾 2 校 (ダンフェン高校、ナンカン高校) ・ 有志生徒が外部機関へ赴き、国際理解学習プログラムに参加 (Global Waters English School)。 ・ 国際文化科 1 年生を対象に、異文化理解に関する講演を実施。 ・ 実用英語能力検定、国際文化科全員受験。 ・ 視聴覚教室リニューアルに関するプロジェクトチームを立ち上げ。 <p>【3 学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会と情報」の授業において、生徒が「視聴覚教室リニューアル案」のプレゼンテーションを実施。 ・ 卒業生の実用英語能力検定取得に関する調査を実施。
	初年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度の国際文化 (教養) 科の交流や学習の取組みの報告会 (4 月)。【日時の記載のないものは通年】 ・ 前年度有志で試行した海外とのオンライン交流を国際文化科生徒全員を対象に実施。 ・ 前年度有志が参加した外部の国際理解学習プログラムを、国際文化科生徒全員を対象に本校で実施。 ・ 「枚方未来学 (総合的な探究の時間)」において、国際文化科 2 年生が異文化理解に関する発表やポスターセッション (12 月) を行い、1 年生が体験参加。成果を 10 校合同発表会 (1 月) で披露。 ・ 教科の授業において GL Hall における発表やディベートの機会を設ける。 ・ 実用英語能力検定、国際文化科全員受験。
2 年め	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度の国際文化 (教養) 科の交流や学習の取組みの報告会 (4 月)。【日時の記載のないものは通年】 ・ 近畿地区英語・国際関係科設置高等学校研究協議会の開催会場として近畿の国際関係高 (対象 55 校) に対して取組みを報告 (11 月)。また、オンラインで協議会の様子を発信。 ・ 前年度、国際文化科生徒を対象に実施した海外交流や国際理解学習プログラムを普通科を含む学年全体に広げて実施。 ・ 「枚方未来学 (総合的な探究の時間)」において、国際文化科 1・2 年生合同で異文化理解に関する発表やポスターセッションを実施する (12 月)。成果を 10 校合同発表会 (1 月) で披露。 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科の授業において GL Hall のおける発表やディベートの機会を拡充する。 ・ 実用英語能力検定、国際文化科全員受験。
	3年め	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度の国際文化科の交流や学習の取組みの報告会（4月）。【日時の記載のないものは通年】 ・ 海外交流や国際理解学習プログラムの参加者を近隣の学校からも募り、地域の拠点として国際交流活動を活発化させる。 ・ 「枚方未来学（総合的な探究の時間）」において、国際文化科を中心に実施していた発表やポスターセッションを普通科でも実施し、学校全体で GL Hall での活用を活発化させるとともに、他校への発信を強化する（12月）。成果を10校合同発表会（1月）で披露。 ・ 教科の授業において GL Hall のおける発表やディベートの機会を拡充し、外部に向けて情報発信する。 ・ 実用英語能力検定全員受験の実施。
	取組みの 主担・ 実施者	<p>主担：文化国際部（分掌）、将来構想委員会（教頭、首席、科長、教務主任、進路指導主事、その他有志）</p> <p>取組みの実施者： 全教員</p>
成果の 検証方法 と評価指標	初年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己診断「国際交流活動が活発」の肯定率 93%以上 [R3年度 92.1%] ・ 自己診断「考えをまとめ、発表する機会がある」の肯定率 92%以上 [R3年度 91.2%] ・ 卒業時の実用英語検定取得者割合 2級 60%以上、準2級以上 80%以上 [R3年度 2級 45%、準2級 74.6%]
	2年め	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己診断「国際交流活動が活発」の肯定率 94%以上 ・ 自己診断「考えをまとめ、発表する機会がある」の肯定率 93%以上 ・ 卒業時の実用英語検定取得者割合 2級 70%以上、準2級以上 90%以上
	3年め	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己診断「国際交流活動が活発」の肯定率 95%以上 ・ 自己診断「考えをまとめ、発表する機会がある」の肯定率 95%以上 ・ 卒業時の実用英語検定取得者割合 2級 80%以上、準2級以上 100%